

民衆の  
声  
ボイス

# VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com

## 平成21年度横浜市一般会計補正予算

### 1 現在の安心確保と将来への投資《484億円》

#### ① 中小企業対策・雇用支援 310億円

- 中小企業融資制度における融資枠の拡大
- 信用保証料助成の拡充
- 技能訓練を受ける母子家庭への支援の拡充等



#### ② 新型インフルエンザ対策 5億円

- 発熱外来用資器材の備蓄の前倒し
- 予防投与用タミフルの追加備蓄等



#### ③ 子育て支援・学校教育環境整備 102億円

- 民間保育所、横浜保育室の整備数増による定員の拡大
- 子育て応援特別手当の給付
- DV被害者に定額給付金、子育て応援特別手当相当額の給付



#### ④ 環境対策 52億円

- 学校への太陽光パネルの設置(200校)
- 防犯灯へのLED照明の導入拡大(1万本)



#### ⑤ 女性特有のがん検診の一部無料化(15億円)

### 2 必要な都市基盤の整備《209億円》

- 再開発事業(鶴見駅東口地区、上大岡C南地区等)
- 道路費負担金《直轄事業》(国道357号整備等)
- ふ頭整備費(大黒ふ頭地盤改良等)
- 港湾整備費負担金《直轄事業》(本牧・大黒ふ頭岸壁耐震工事等)



経済・市民生活を守る補正予算決まる!

総額693億円



### 早期発見・早期治療

## 女性特有のがん対策が大きく前進！ 特定年齢の女性にがん検診無料クーポン券配付

横浜市は、市内居住の女性のうち、平成20年4月2日から平成21年4月1日の間に20、25、30、35、40歳になった女性には子宮頸がん、40、45、50、55、60歳になった女性には乳がん（40歳の方は両方）の検診無料クーポン券を郵送します。無料クーポン券は平成22年3月31日まで有効で、同時に送られる市内検診機関一覧に示された委託機関で利用することができます。



また対象年齢の方が、平成21年4月1日以降に横浜市内の検診委託機関において横浜市の乳がん、子宮頸がんの検診を受けた場合にも自己負担額全額が払い戻しとなります。詳しい手続き方法は今後公表されます。

## 21年度版 子育て応援特別手当36,000円

厳しい社会経済情勢が続く中、幼児教育期の負担に広く配慮する観点から、幼稚園及び保育所に通う年代である小学校就学前3年間の子に対して、1人あたり3万6千円を給付することになりました。

対象は平成15年4月2日から平成18年4月1日までの生まれ（平成21年3月末において3〜5歳）の子どもです。

今回は第一子にも給付されます。給付日程等については、今後国から示される日程をもとに検討していきます。



## パソコンがひとり一台！

これまで2人で1台を使用していた市立小学校のパソコンルームに、1人が1台のパソコンを使用できる台数を配置します。また小中学校の普通教室に1台を追加整備し、特別教室用には6台整備します。

先生が校務に使用するパソコンも、1人に1台となるよう整備します。



## 電子黒板の整備

市立の全小中学校491校に各1台整備します。

電子黒板は、教科書やノートを大きく表示したり、書き込んだり、映像を映し出したりすることができ、より分かりやすく、楽しい授業の展開が期待されます。

## 市立学校にも 地デジ対応テレビ

市立の小中高등학교、特別支援学校の普通教室に設置しているブラウン管型テレビを入れ替えます。50インチ以上のテレビの整備を予定しており、パソコン等と接続しての利用も可能です。

# なかで 補正予算のなかで 生活に身近な実績！

お問い合わせ《横浜市コールセンター》電話 (664) 2525

### DV被害者に定額給付金相当額を給付

DV被害者で現住所に住民登録できないため、定額給付金や子育て応援特別手当を受給できない市民に対して、各給付金相当額を横浜市独自に給付します。詳しい手続き方法は、決まり次第ホームページ等でお知らせしていきます。



### 保育所整備

民間保育所6ヶ所（定員300名）を追加整備するとともに横浜保育室整備への助成を新たに2ヶ所（定員40名）拡充し整備します。

### 不妊相談・治療費助成

特定不妊治療を行う夫婦の経済的負担を軽減するため、助成限度額を5万円引き上げ15万円とします。



### 中小企業対策・雇用支援

緊急借換支援資金、セーフティネット特別の融資枠を各200億円から500億円に拡大。

緊急借換支援資金保証料（0.8%）の一部助成を0.2%から0.4%に拡大。

地域貢献企業及び横浜価値組企業への保証料助成を2分の1（上限50万円）から全額に。



## 公明党横浜市会議員団の新体制と 常任・特別委員会が決まりました。

神奈川 広域水道 企業団 議員	●特別委員会●					●常任委員会●					監査委員 加藤 広人	議員団新体制 仁田昌寿 (団長) 木村久義 (幹事長) 加藤 広人 (副幹事長) 高橋 正治 (政務調査会長)		
	都	環境行動	都	安全安心	基地対策	大 都 市 行財政制度	委員 会名	都	健康福祉・ 病院経営	教 育 こども青少年			市 民活力推進・ 安全管理	都 市経営・ 行政運営調整
木村久義	源波正保 榊原泰子	望月康弘 仁田昌寿 福島直子 (委員長)	高橋正治 木村久義 (副委員長)	加藤 広人 石井睦美 加藤 広人	加藤 広人 石井睦美 加藤 広人	委員 員	望月康弘 仁田昌寿 (副委員長)	高橋 正治 加藤 広人	齊藤伸一 (副委員長) 加納重雄	木村久義 齋藤真二	望月康弘 仁田昌寿 (副委員長)	委員 会名	和 田 卓 生 (副委員長) 福 島 直 子 望 月 康 弘	
神奈川 後期高齢者医療 広域連合議員	都	都	都	都	都	委員 会名	環 境 創 造・ 資源循環	経 済 観 光・ 港 湾	ま ち の 調 整・ 都市整備 道 路	水 道・交 通	委員 会名	手塚 静江 (副委員長) 石井睦美	委員 員	手塚 静江 (副委員長) 石井睦美
牧嶋秀昭	和 田 卓 生 齊藤伸一	大 滝 正 雄 (副委員長)	牧嶋秀昭 (委員長)	齋藤真二 手塚 静江	齋藤真二 手塚 静江	委員 員	和 田 卓 生 (委員長) 源波正保	和 田 卓 生 (委員長) 源波正保	大 滝 正 雄 福 島 直 子	和 田 卓 生 (委員長) 源波正保	委員 員	和 田 卓 生 (副委員長) 福 島 直 子 望 月 康 弘	和 田 卓 生 (副委員長) 福 島 直 子 望 月 康 弘	



## 太陽光発電パネルを市立小中学校200校に

現在30校に設置されている太陽光パネルと合わせると、230校に設置されることとなります。設置に伴う屋上防水工事も100校で実施します。

これにより年間850トンのCO<sub>2</sub>削減効果ももたらされるとともに、環境教育への活用も期待されます。



報告

環境モデル都市・横浜の7月7日

使用済携帯電話<回収ボックス>を設置 クールアースデーの7月7日まで

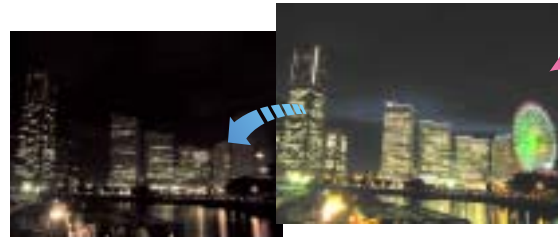
台と極め少ない状況です。環境省、総務省、経済産業省、地方公共団体、通信事業者及び携帯電話メーカー等が連携して、6月3日からクールアースデーである7月7日まで、「使用済携帯電話回収促進キャンペーン」を実施して



使用済携帯電話を投入する仁田まさとし市議

横浜市では、使用済携帯電話の回収実証実験が行われ、市庁舎(二階)と鶴見区等9つの区役所に回収ボックスが6月5日(金)からクールアースデーである7月7日(火)まで設置されています。日本でリサイクルの対象となる家電や電子機器に含まれる金属(都市鉱山)を合計すると世界の埋蔵量の1割にも達するものが多く存在するとのこと。携帯電話にも、貴金属やレアメタルが高濃度で含まれております。しかし、平成19年度の携帯電話の販売台数の約5千200万台に對し、自主的回収数は約644万台と極めて少ない状況です。環境省、総務省、経済産業省、地方公共団体、通信事業者及び携帯電話メーカー等が連携して、6月3日からクールアースデーである7月7日まで、「使用済携帯電話回収促進キャンペーン」を実施して

横浜市では、使用済携帯電話の回収実証実験が行われ、市庁舎(二階)と鶴見区等9つの区役所に回収ボックスが6月5日(金)からクールアースデーである7月7日(火)まで設置されています。



環境モデル都市・横浜では、日頃いかに照明を使用しているか実感していただき、脱温暖化行動を実践する動機付けとするために、今年も7月7日(火)20時からの二斉消灯を呼びかけ横浜マリントワー等、市の施設を消灯しました。

たなばた セタライトダウン

エコポイントの申請がスタート!

省エネ家電を買うともらえる「エコポイント」を商品と交換する申請受け付けが、7月1日からスタートしました。商品券や鉄道会社発行のICカード、地域産品など合計271種類から選ぶことができ、今後も種類を増やしていくこととなります。エコポイントは、省エネ性能の優れたエアコン、冷蔵庫、地上デジタル対応テレビを購入する際にもらえます。取得ポイント数は、対象製品の大きさや能力に応じて3000〜3万6000ポイント(1ポイントは1円に換算)。

エコポイント交換の流れ



(7.1付 公明新聞より)

[事務局ホームページ] <http://www.eco-points.jp>

リヨン市長、市会本会議で演説



6月1日、横浜市と姉妹都市提携50周年を迎えたフランスのリヨン市長であるジェラルド・コロン氏が、横浜市の市会本会議場において演説しました。海外からの賓客による市会本会議場での演説は3人目となります。16世紀、リヨン市にイタリアから絹が導入されて以来絹織物産業の街として発展。横浜から運ばれてくる日本の生糸、蚕種(蚕の卵)はリヨン市を中心としたフランスの絹織物産業にとって重要な原料でした。「おカイコさんのとりもち」により両市に姉妹都市交流が生まれたとも言えます。演説では、絹の縁で結ばれたこれらの歴史に触れたのち、文化や新産業の取り組み等を通してリヨン市を紹介。最後に、市民と力をあわせ「地球上のあらゆる人々に幸せを与えること」が私たち(市会議員)の使命と締めくくり、議場内からの万雷の拍手で終了しました。